

おいしい！の
笑顔をつくる

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社



－ 株主のみなさまへ －

第81期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日



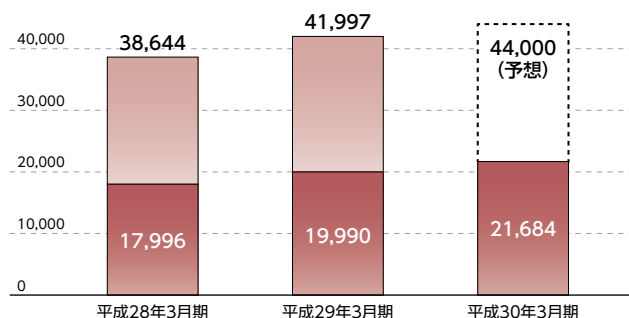
imuraya group

連結財務ハイライト

■ 通期実績 (4月1日～3月31日) ■ 中間実績 (4月1日～9月30日)

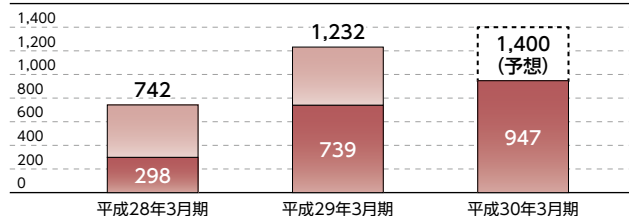
売上高

単位:百万円



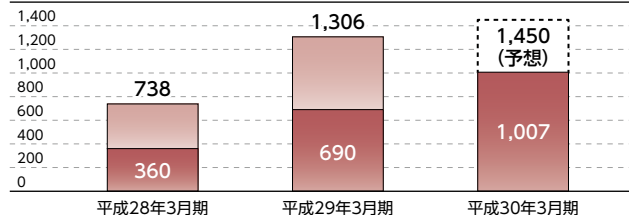
営業利益

単位:百万円



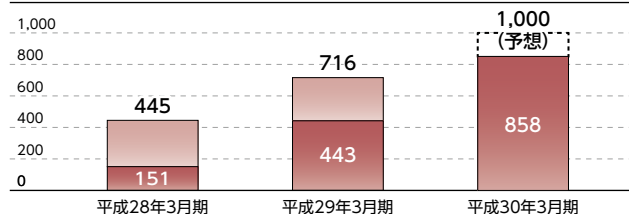
経常利益

単位:百万円



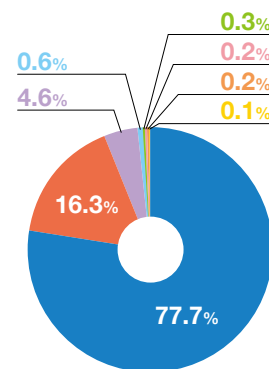
親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



持株会社及び事業会社別の売上高

- 井村屋(株) 77.7%
- 井村屋フーズ(株) 16.3%
- IMURAYA USA, INC. 4.6%
- 北京京日井村屋食品有限公司 0.6%
- 井村屋グループ(株) 0.3%
- イムラ(株) 0.2%
- 井村屋(北京)食品有限公司 0.2%
- 井村屋(大連)食品有限公司 0.1%



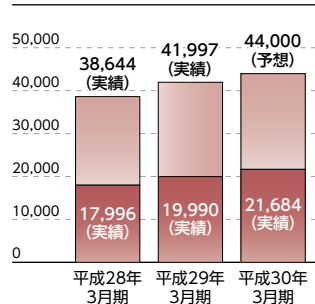
井村屋グループ中期3カ年計画

One imuraya 2017

井村屋グループは、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「One imuraya 2017」を策定しました。厳しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値をさらに高めてまいります。常にお客様の視点に立ち、継続的なイノベーション(革新)で特色経営をさらに磨き、着実な成長によって社会に貢献するグループ企業を目指します。

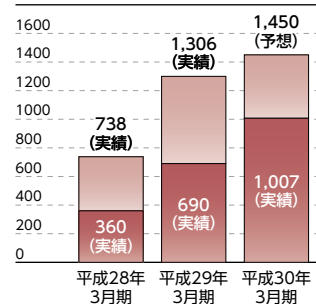
売上高

単位:百万円



経常利益

単位:百万円





井村屋グループ株式会社
代表取締役会長 (CEO)

浅田 剛 夫



井村屋グループ株式会社
代表取締役社長 (COO)

大西 安 樹

井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション (社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活に
おいしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン (ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様の
ことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション (情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体
最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色
経営」につながり、新しい付加価値になります。

東京証券取引所及び名古屋証券取引所市場第一部銘柄指定承認に関するお知らせ

井村屋グループ株式会社は、平成29年11月15日、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所のご承認をいただき、平成29年12月7日をもって、当社株式が東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に、名古屋証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されることとなりました。

本年、井村屋グループは創業120年、会社設立70周年を迎えさせていただき、周年のテーマを“挑む! (Challenge)”として、「変わる (Change)」「創る (Create)」「つなげる (Continue)」の3つのCの実践に取り組んでまいりました。

今後も、将来への継続的発展を目指して、挑み続けてまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第81期上半期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)を終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

当社は今年、創業120年、会社設立70周年、持株会社移行7年目を迎えることが出来ました。

これもひとえに、株主のみなさまをはじめ、関係各位のご支援、ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、日本における経済環境は円安、株高による企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが、将来の消費税増税への懸念など、依然先行き不透明な状況が続いております。

そのような経営環境の中で当社グループは、中期3カ年計画「One imuraya 2017」の最終年度を向かえ、「量から質へのイノベーションに挑む!」を掲げ、生産性の向上とリスクマネジ

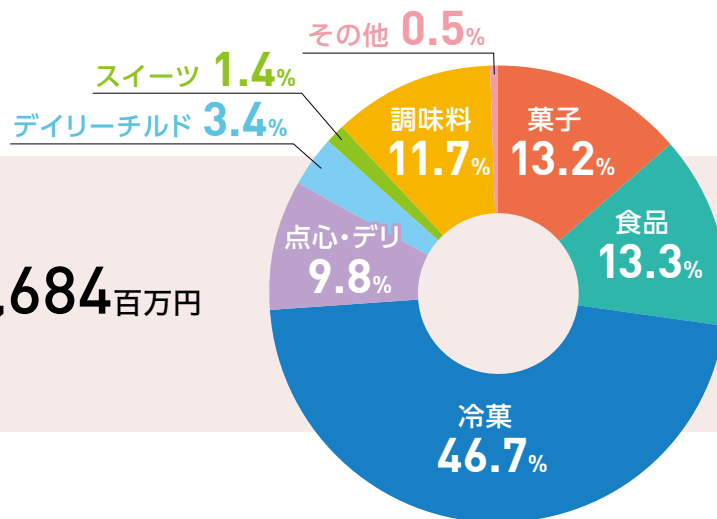
メントの実践に努めてまいりました。

当第2四半期におきまして、夏場の主力である冷凍商品が8月の長雨の影響を受けたものの、通期では「あずきバー」が過去最高の売上を記録しました。4月に発足しました井村屋フーズ株式会社も堅調に推移し、また海外事業各社も収益面で貢献をいたしました。すべてのカテゴリーにおいて前年を上回り、当グループの特長である多様性が活かされました。

下半期に向けても、7月に本格稼働した「点心・デリ工場」をはじめ、更なる業容の拡大と企業価値向上に努め、みなさまの「おいしい!の笑顔」の実現にグループ各社一丸となって、力強く挑戦してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結売上高 21,684百万円



菓子 2,858百万円 (前年同期比117百万円(4.3%)増)

新商品の「**煮小豆ようかん**」や「**和菓子屋の黒糖わらびもち**」「**和菓子屋の柚子くずもち**」が順調に推移しました。また、機能性の高い商品として注目されている「**スポーツようかん**」に新商品「**スポーツようかん カカオ**」を発売し好評をいただいております。ギフト商品では「**和菓子の夏ぎふと**」が公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2017日本パッケージングコンテスト」において「贈答品包装部門賞」を受賞しました。今後もパッケージデザインをさらに進化させ、商品の訴求力を高めてまいります。焼き菓子では、「**和菓子屋のどら焼き**」シリーズが着実に売上を伸ばしました。中国のカステラ事業では井村屋(北京)食品有限公司(IBF)において中国国内のOEM商品受託など新規ルート開拓が進みました。



食品 2,888百万円 (前年同期比185百万円(6.9%)増)

新商品の「**カフェフラッペ**」シリーズを投入した「**氷みつ**」の売上が増加しました。また、「**ゆであずき**」や「**お赤飯の素**」などの主力商品に加え、健康・機能性をテーマとした商品「**煮小豆**」や「**カロリーーフゆであずき(煮あずき製法)**」を発売し、チューブ入り商品では「**安納芋あんトッピング**」を発売しました。BtoB事業の井村屋フーズ株式会社では、加工食品のOEM受託事業で売上を伸ばしました。



冷菓 10,109百万円 (前年同期比782百万円(8.4%)増)

最盛期での天候不順の影響にもかかわらず主力商品「**あずきバー**」シリーズの売上本数が前期比7.3%増の2億32百万本となり、上期において過去最高の売上本数となりました。また、新商品の「**クリームチーズアイスブルーベリー**」も売上増加に貢献しました。米国アイス事業のIMURAYA USA, INC.では、井村屋ブランド商品「**もちアイス**」の大手量販店への導入が計画に沿って進み、売上が前期比90.0%増と大きく伸長しました。



点心・デリ 2,135百万円 (スチーマー商品) (前年同期比261百万円(14.0%)増)

「肉まん・あんまん」などの「点心・デリ」カテゴリでは付加価値の高い商品提案が評価され、コンビニエンスストアへの導入店舗数が増加しました。新工場も計画通り稼働しており、本格的なシーズンに向け期待がもてる状況となっています。



デイリーチルド 736百万円 (前年同期比46百万円(6.7%)増)

「豆腐類」で「**美し豆腐**」やその他の業務用商品が堅調に推移し、冬物商品の「チルドまん」シリーズが順調に立ち上がりました。



スイーツ 309百万円 (前年同期比51百万円(19.8%)増)

「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が引き続き堅調に推移しました。催事販売の効果により認知度が高まっている「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、昨年6月にオープンした『La maison JOUVAUD』(ラ・メゾン・ジュヴォー) KITTE名古屋店において特長あるメレンゲ菓子の「**生ロカイユ**」がテイクアウト商品として根強い人気を集めており、販売も好調に推移しました。また、新商品としてカラフルな10種類の焼菓子を発売し好評をいただいております。



調味料 2,535百万円 (前年同期比251百万円(11.0%)増)

国内では井村屋フーズ株式会社のシーズニング事業において、ODM (Original Design Manufacturing) 市場での新規顧客獲得やお客ニーズに対応した商品提案に取り組んだ結果、売上高が増加しました。また、継続した生産性向上活動により労務費とエネルギーコストの低減が図られました。中国の調味料事業では、海外への輸出が減少しましたが、北京の北京京日井村屋食品有限公司 (JIF) が中国国内で積極的な販路拡大に取り組み、売上が増加しました。大連の井村屋 (大連) 食品有限公司 (IDF) でも製造原価の低減が図られ、計画に沿って推移しました。



その他 111百万円 (前年同期比3百万円(2.7%)減)

イムラ株式会社が行っているリース代理業は堅調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民の皆様から引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「imuraya Sweets Shop irodori」では特色のあるスイーツ商品を中心に販売し、人気を得ております。

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成29年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成29年9月30日
(資産の部)		
流動資産	9,958	13,310
現金及び預金	799	923
受取手形及び売掛金	5,146	8,255
たな卸資産	3,241	3,145
その他	772	986
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	16,195	17,997
有形固定資産	13,837	15,381
無形固定資産	124	122
投資その他の資産	2,233	2,493
繰延資産	20	16
資産合計	26,175	31,324
(負債の部)		
流動負債	12,487	17,005
固定負債	2,363	2,337
負債合計	14,850	19,342
(純資産の部)		
株主資本	9,001	9,596
その他の包括利益累計額	2,297	2,358
非支配株主持分	26	26
純資産合計	11,324	11,981
負債・純資産合計	26,175	31,324

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

当第2四半期末日が銀行休業日に伴い、売掛金が増加しました。

POINT 2 負債

計画的な設備投資及び冬物商品の生産に連動した短期借入金が増加しました。

POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する四半期純利益が増加しました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
売上高	19,990	21,684
売上原価	13,215	14,178
売上総利益	6,774	7,506
販売費及び一般管理費	6,034	6,558
営業利益	739	947
営業外収益	88	86
営業外費用	137	26
経常利益	690	1,007
特別利益	42	254
特別損失	15	13
税金等調整前四半期純利益	717	1,247
法人税等合計	274	388
四半期純利益	443	859
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	443	858

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 冷業商品において、主力の「あずきパー」シリーズが好調に推移するとともに、IMURAYA USA, INC.の売上が増加、また、井村屋フーズ株式会社のB to B事業の受注も堅調に推移したことで、第2四半期連結累計期間においては売上高、各利益とも過去最高の業績となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,111	△ 755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,415	△ 1,902
財務活動によるキャッシュ・フロー	283	2,776
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 117	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 138	124
現金及び現金同等物の期首残高	904	794
現金及び現金同等物の四半期末残高	765	918

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、当第2四半期末日が銀行休業日に伴い、売上債権が増加したため、収入が減少しました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加しました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、設備投資による借入金が増加しました。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式の総数	12,822,200株 (自己株式886,675株を含む)
株主数	6,134名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株 式 会 社 第 三 銀 行	588	4.93
株 式 会 社 百 五 銀 行	578	4.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	4.68
井 村 屋 取 引 先 持 株 会	525	4.40
中 山 芳 彦	363	3.04
株 式 会 社 リ そ な 銀 行	286	2.39
株 式 会 社 西 村 商 店	239	2.00
双 日 食 料 株 式 会 社	232	1.94
井 村 屋 従 業 員 持 株 会	211	1.77
株 式 会 社 三 重 銀 行	203	1.70

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬頃にお送りいたしております。以下は、平成29年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

株主様へのインフォメーション

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に、お問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

100株以上 500株未満の株主様



500円相当の
井村屋新商品

500株以上 1,500株未満の株主様



1,500円相当の
井村屋商品オリジナルギフト

1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の
井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト
次の2種類からお一つお選びいただけます。



※②で点心・デリ商品詰め合わせをお選びいただいた場合、冷凍商品の
ため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

菓子



スポーツようかん (あずき・カカオ)

幅広いユーザーにおいしく食べやすいようかんでスポーツをさらに楽しんでいただきたいという思いから、従来のあずき味に加えカカオ味が新たに仲間入りしました。片手で簡単にエネルギーチャージができ、ゆっくりと体内に吸収されていくのでマラソンやゴルフ・登山など持久系スポーツに最適です。

点心・デリ



パンチェッタのカルボナーラ・ バターチキンカレー

しっとり蒸して香ばしく焼いた新食感パンズ「ベイクド・デリシリーズ」がさらにおいしくなりました。新しくラインナップされた「カルボナーラ」には滑らかな口当たりのソースを包みパンチェッタをトッピングしました。「バターチキンカレー」は鶏肉の旨み・トマトの酸味と相性抜群のカレーを合わせコクのある味わいに仕上げました。



食品



カロリーーフゆであずき (煮あずき製法)

1962年の発売から55年、井村屋の定番商品「ゆであずき」がやさしい味わいはそのままに、カロリー1/2、糖質20%カット(※)になって新登場。さらに食物繊維やポリフェノールなどあずきの栄養をぎゅっと閉じ込めました。糖質・カロリーが気になる方へおススメの商品です。

※当社商品「ゆであずき」100gあたりと比較



ゆず蜜・しょうが蜜

着色料・香料不使用で素材本来の味が楽しめる本格シロップの登場です。

「ゆず蜜」にはビタミンCが豊富に含まれる高知県産「ゆず皮ピューレ」を贅沢に使用。「しょうが蜜」には国産「黄金(こがね)しょうが」を使用したピリリとクセになる後味に仕上げました。女性の声から作られたこだわりのシロップは水やお湯で割って飲むほか、料理にもご使用いただけます。



安納芋あんトッピング

ねっとり濃厚な甘さが人気の鹿児島県種子島産の「安納芋」がチューブ入りのあんになりました。安納芋を皮ごと使用しているので「いも」の風味がしっかりと味わえます。トーストやアイスに好きな分だけトッピングすることができ、手軽に濃厚なお芋スイーツがご家庭で楽しめます。



野菜ブイオン(リニューアル)

玉ねぎやにんじんなど6種類の野菜に加え、うまみの強いトマトを追加しリニューアルしました。さらに、アレルゲン・グルテンフリーにもなり野菜スープやチャーハンなど和・洋・中の様々な料理に安心してご使用いただけます。1本使いきりタイプで原料・味・仕様、全てにこだわった商品です。

菓子博 2017 カーボン・オフセット

現在稼働しているバイオマスボイラは再生可能なエネルギー資源である木質チップを使用し蒸気を作り出すことで、化石燃料の使用量の低減とCO₂の削減に繋がっています。

2015年11月18日からの取組で約4,900tのCO₂を削減致しました。これを当社も参加させていただいた「お伊勢さん菓子博2017」の推定二酸化炭素排出量約3,700tのうちバイオマスボイラ導入によりJ-クレジット化した排出量の約3,655tの寄付を行いました。



▲カーボン・オフセット感謝状

和菓子の夏ぎふと 2017 日本パッケージングコンテスト 「贈答品包装部門賞」受賞

公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2017日本パッケージングコンテスト」において「和菓子の夏ぎふと」が「贈答品包装部門賞」を受賞いたしました。「和菓子の夏ぎふと」は涼感豊かな和菓子を詰め合わせた夏らしさを感じることが出来るギフトです。夏の風情をグラフィックで表現し、従来のギフトデザインから一新した点が評価を受け、受賞に至りました。今回の受賞を契機に味はもちろん、パッケージデザインにもこだわった商品を開発していきます。



▲夏ぎふと表彰盾



和菓子の夏ぎふと ▶

「世界の料理を包む」点心・デリ工場新設

より新しい技術を構築し、先駆けて「包む」技術を進化させお客さまのおいしい!の笑顔を作るため点心・デリ工場が7月に稼働を開始しました。

新工場にはベイクド・デリシリーズの生産拡大に向け新規オープンの導入、そしてゴールド商品で培った発酵生地専用ラインを6ライン設置するなど商品の供給体制を整えました。この新工場のもと、井村屋の特色ある商品を安定に供給し更なる拡販を図っていきます。



▲点心・デリ工場



点心・デリ工場内部 ▶

中国にて井村屋(北京)企業管理有限公司 設立

2017年11月に中国北京市に新会社「井村屋(北京)企業管理有限公司」を設立いたしました。

中国において3つの事業会社が展開し、調味料やカステラ等の製造、販売を行っており、これからの中国事業一元化(One China)に向け、管理業務の集約化と資金の有効活用を図るとともに、グループ会社間の情報共有、人材交流を推進し、中国事業全体の成長に向けた事業戦略を構築、展開してまいります。



Many Thanks キャンペーン

総計1,110名様にあたる「肉まん・あんまん Many Thanks キャンペーン」が今年も始まりました。今回は、ゴールドシリーズに直火で焼いたチャーシューがタレとの相性抜群の「炙り焼きチャーシューまん」が加わり、対象商品は全14品となっております。対象商品についている応募マークを集めてどしどしご応募ください！



井村屋さんの毎日ほっこり あずきレシピ 主婦の友社より発売

1962年に発売した定番商品「ゆであずき」や本格的なお赤飯が楽しめる「お赤飯の素」などを簡単調理でおかずや和スイーツにするなど様々なあずきを使ったレシピが楽しめる内容となっております。また、あずきレシピ本には井村屋本社工場にて生あんの製造時に出るあずきの皮を有効活用したあずきの混抄紙（こんしょうし）「紅金剛（べにこんごう）」を見返しの紙に使用しています。



◀ 井村屋さんの毎日ほっこりあずきレシピ

岐阜県関市との固い繋がり（第2弾）

2015年2月の岐阜県関市の日本刀とあずきバーの“固さ”にちなんだ投稿が話題になりました。翌年にはあずきバーを使用した料理を提供する「関鍛冶CAFÉ & あずきBAR」を開設するなどお互いのブランドを高め合う交流を現在も続けております。そして今年10月に開催された「第50回刃物まつり」にて日本刀型のアイスをあずきバーで作った長さ65cmの「日本刀アイスあずきバー」の展示を行い、大きな反響を呼びました。今後も固く良好な関係を続けPRを行ってまいります。



▲日本刀アイスあずきバー

2017年11月、井村屋グループは おかげさまで創業120年、会社設立70周年を迎えました。

〈井村屋グループの持株会社制(HUB型経営)について〉

1896年に菓子舗「井村屋」が三重県松阪市に創業し、1947年には会社組織「株式会社井村屋」としてスタートし、1953年には「井村屋製菓株式会社」として“楽しい商品すぐれたサービス”の価値提供を行ってまいりました。そして、2010年10月1日、各事業会社が互いに連携、協働することでより高い付加価値を生み出し顧客満足へとつなげていくことを目的に「持株会社制」へ移行し、社名が「井村屋グループ株式会社」へと変更になりました。

流通事業を「井村屋株式会社」へ、調味料事業を「井村屋シーズニング株式会社(現在の井村屋フーズ株式会社)」へと、新設分割により新たに設立した会社へそれぞれ事業承継しました。現在のやわもちアイスシリーズにも井村屋フーズ株式会社のパウダー技術が活用されるなどグループ間のシナジー効果を発揮しています。

井村屋グループの持株会社制は、持株会社である井村屋グループ株式会社が中心に位置し、その周りを取り囲むように各事業会社がサークル状に相互に連携する「HUB(ハブ)型」の経営となっています。

今後もこの特色ある経営を継続し次の100年へと確実にバトンを実実に繋いでいくためグループ丸となって、「変わろう」「創ろう」「つなげよう」という3つの行動をテーマに挑んでまいります。



挑
む



変わろう



創ろう



つなげよう

持株会社 概要(平成29年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本 社 所 在 地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創 業 明治29年(1896年)
設 立 昭和22年(1947年)4月
資 本 金 2,253百万円
従 業 員 数 46名 ※グループ全体では960名(平成29年9月30日現在)
事 業 内 容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、
不動産の賃貸・管理

役員・執行役員 代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫
代表取締役社長(COO) 大西 安樹
代表取締役副社長兼上席執行役員 中島 伸子
専務取締役兼上席執行役員 前山 健
専務取締役兼上席執行役員 菅沼 重元
常務取締役兼上席執行役員 中道 裕久
取締役兼上席執行役員(CTO) 伊藤 宏規
取締役 名倉真知子
取締役 西岡 慶子
上席執行役員 森井 英行
上席執行役員 鼎 正教
執行役員 濱口 昭弘
執行役員 岩本 康
執行役員 富永 治郎
執行役員 近藤 久嗣
執行役員 岩上 真人
常勤監査役 脇田 元夫
常勤監査役 寺家 正昭
監査役 若林 正清
監査役 橋本 陽子

(注) 取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<http://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook
<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram
https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(平成29年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所 在 地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子、食品、デイリーチルド、点心・デリ、冷菓、スイーツの製造販売
代 表 者：浅田 剛夫、前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社

所 在 地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子、食品、冷菓、調味料、食品添加物の製造販売
代 表 者：菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社

所 在 地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：リース代理店業務、不動産管理業務等
代 表 者：池田 秀治
<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>

北京京日井村屋食品有限公司

所 在 地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：調味料の販売
代 表 者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所 在 地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：菓子の製造販売
代 表 者：前山 健、中野 憲一
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所 在 地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷菓の製造販売
代 表 者：浅田 剛夫、鼎 正教
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所 在 地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：調味料の製造販売
代 表 者：前山 健、近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

